

## 平成28年度第1回たづくり・グリーンホール利用者懇談会

- 1 日 時 平成28年7月9日（土）10時から12時まで
- 2 会 場 調布市文化会館たづくり10階 1001学習室  
（調布市小島町2丁目33番地1）
- 3 出席者 市 民 3人  
事務局 10人  
調布市：榊文化振興課長、中島生涯学習交流推進課長  
財 団：吉田常務理事、土方事務局長、窪田総務課長、  
鈴木コミュニケーション課長兼たづくり事業課長、  
常廣総務課長補佐、阿部グリーンホール事業課グリー  
ンホール事業係長、大割総務課施設管理係長  
高橋総務課総務係長、
- 4 資 料  
平成28年度第1回たづくり・グリーンホール利用者懇談会（平成28年  
7月9日）要望事項対応表【平成28年6月20日現在版】

### 《会議録》

- 1 開会
- 2 財団あいさつ 吉田常務理事
- 3 出席者紹介 調布市及び財団出席者の紹介
- 4 連絡事項 発言者の注意事項

#### ○窪田総務課長

皆さん、おはようございます。定刻となりました。ただいまから平成28年度第1回たづくり・グリーンホール利用者懇談会を開催します。進行につきましては、お手元に配付しております利用者懇談会の次第に沿って進めます。

初めに、本日の配付資料を確認します。1点目が、利用者懇談会次第です。2点目が、平成28年度第1回たづくり・グリーンホール利用者懇談会要望事項等対応表です。ほか

に、机上に出席票を配付しております。

続きまして、次第2、財団あいさつとして、常務理事の吉田よりごあいさつ申し上げます。

○吉田常務理事

おはようございます。今年度最初の利用者懇談会ですが、雨の中をご出席いただきまして、誠にありがとうございます。皆さんもご承知のとおり、昨年、調布市は市制施行60周年を迎え、財団は設立20周年を迎えたところです。

20年というと、人間でいうと成人式ということで、成長過程における大変大きな節目の年ということになるわけですが、財団としてもこの20年を振り返ると、本当に様々な事業を実施してまいりました。職員も、日頃より、たづくりやグリーンホールを利用させていただいている皆様方や、財団を支えていただいている地域の皆様方に感謝をさせていただくという大変貴重な機会をいただき、これまで培ってまいりましたノウハウや経験を存分に生かし一丸となって取り組んできたところです。

市民の皆さんや利用者の方たちのニーズに合った事業、あるいは運営をするということは、言葉で言うのは簡単ですが、財政の状況を考えると非常に難しいという事実もあります。これから25周年、あるいは30周年を見据えながら、また、同時に施設の老朽化についても考え、その辺のところも十分に視野に入れながら前に進んでまいりたいと思います。本日は限られた時間ですが、忌憚のないご意見をいただければと思います。どうぞよろしく申し上げます。

○窪田総務課長

続きまして、次第3、出席者を紹介します。

最初に、調布市側の出席者からご紹介します。生活文化スポーツ部文化振興課の榎課長です。

○榎文化振興課長

榎です。よろしく申し上げます。

○窪田総務課長

同じく生活文化スポーツ部生涯学習交流推進課の中島課長です。

○中島生涯学習交流推進課長

中島です。よろしく申し上げます。

○窪田総務課長

続きまして、文化・コミュニティ振興財団の出席者です。改めまして、常務理事の吉田です。

○吉田常務理事

吉田です。よろしくお願いします。

○窪田総務課長

事務局長の土方です。

○土方事務局長

土方です。よろしくお願いします。

○窪田総務課長

コミュニケーション課長兼たづくり事業課長の鈴木です。

○鈴木コミュニケーション課長兼たづくり事業課長

鈴木です。よろしくお願いします。

○窪田総務課長

たづくり事業課主査の立石です。

○立石たづくり事業課主査

立石です。よろしくお願いします。

○窪田総務課長

グリーンホール事業係長の阿部です。

○阿部グリーンホール事業係長

阿部です。よろしくお願いします。

○窪田総務課長

総務課長補佐の常廣です。

○常廣総務課長補佐

常廣です。よろしくお願いします。

○窪田総務課長

総務課施設管理係長の大割です。

○大割総務課施設管理係長

大割です。よろしくお願いします。

○窪田総務課長

総務課総務係長の高橋です。

○高橋総務課総務係長

高橋です。よろしくお願いします。

○窪田総務課長

最後に、本日、進行を務めます総務課長の窪田です。よろしくお願いします。

続きまして、次第4、連絡事項です。この懇談会に際してのお願いなど、連絡事項がございますので、お聞きください。

まず1点目は、お手元に配付しております出席票にご記入をお願いします。特に座席番号の記入忘れのないようにお願いします。お帰りの際に机の上に伏せてお帰りください。住所欄には町名のみで結構です。もしくは所属団体名の記入を、そして氏名をお書きください。

2点目は、この懇談会では情報公開用の会議録作成のため、録音をさせていただきます。これを要約した形でホームページで公表し、また、財団報ぱれっとには、抜粋した形で掲載いたします。なお、発言者の氏名は公表しません。

初めてご参加いただく方もいらっしゃると思いますので、利用者懇談会についてご説明させていただきます。日頃、たづくり、グリーンホールを利用されている方々と意見交換し、お寄せいただいたご意見により、よりよい運営を目指すことを趣旨としています。スムーズな進行を心がけますので、ご協力のほど、よろしくお願いします。

次第5の懇談に入る前に、前回行いました利用者懇談会でのご意見に対するその後の対応の確認をさせていただきます。本日、配付資料としてお手元に配付しています要望事項等対応表の右欄に太字下線で平成28年6月20日現在と記した対応状況の部分に関して説明いたします。それでは、対応表をご覧ください。左にNo. が振っておりますので、順次説明をさせていただきます。

まず、No. 2です。大会議場で受講した講座で、音響が反響して講師の声が聞き取りにくかった。これについては、6月20日現在、太字ですが、引き続き、利用時に音響スタッフがマイクやスピーカーのチェックを行い、最善の形になるように対応しています。

○F

最初に全部説明をするかたちでしょうか。

○窪田総務課長

1度、すべて説明させていただき、後でまとめて質疑ということでお願いします。

続きまして、No. 3です。大会議場のテーブルの足を立てるとき、ストッパーがかからないことがある。ストッパーがきちんとかかるテーブルを導入してほしい。新たなものを購入する場合については、軽いものにしてほしいというご意見がございました。こちらについては、机は従来品より軽量なものに全て交換しております。

続きまして、4番です。たづくりの駐車場を出庫する際に、時期によって西日が視界に入るということで、対策を検討してほしいというご意見がございました。これにつきましては、駐車場出口の日よけ板の設置を検討しましたが、日差しの角度、また季節によって効果が限定的となってしまうといったところで、現時点では設置する予定はありません。

続きまして、No. 7です。1103学習室のお茶道具の入っているキャビネットの扉が開けにくいというご指摘をいただきました。こちらについては、すでに点検を実施し、調整しています。

No. 11です。サークル紹介のラックは独立させてほしいというご意見がございました。こちらにつきましては、ラック内の資料を整理させていただき、改善を図っています。

No. 12です。くすのきホール、グリーンホールなど、発表できる施設の予約がとりにくいというご意見を頂戴しました。こちらについては、市民の皆さんにできる限り施設をご利用いただけるよう、調布市に市での利用が必要最小限となるよう依頼するなどして調整を行っています。要望事項の対応表については以上となります。

それでは、対応表の要望を含めて、お1人ずつご意見を頂戴したいと思います。発言時間の制限は特にございません。出席者全員の皆さんからお話を伺いたいと思いますので、よろしくをお願いします。全員の方が話す時間がとれるよう配分させていただくこともあらかじめご了承をお願いします。

発言がある場合につきましては、挙手していただき、発言する方を私から指名させていただき方式で進めます。大変恐縮ですが、発言の前にお名前をお願いします。

それでは、私から見て左側のN様から順番に時計回りでお願いします。

○N

Nと申します。たづくりには、いつも大変お世話になっています。私からは、対応表に記載のあるもの以外でもよろしいでしょうか。

○窪田総務課長

ほかの件でも結構です。

○N

利用者懇談会で要望をお伝えしたほうがいいのではないかという意見がメンバーの中から出たので参加させていただきました。

具体的には、私たちは調布の中の地域の情報を映像、音声、紙媒体、ネットを使って調布の人たちに伝えるという活動をさせていただいています。活動し始めて12年近くなっています。私たち市民が自分たちで情報を発信しているのですが、設備を持ったりだとかができないために、たづくりには大変お世話になっています。特に、8階にありますスタジオは、いろいろな撮影で利用しています。こちらとしては、そういった撮影場所を確保するというのは市民団体として非常に難しいところですので、大変ありがたいと思っています。

1点目は、先日来、スタジオというのは特別な機材があるわけですが、私たちはどうしても撮影など以外の目的でも施設を利用できるようになっているという話を聞きました。もちろん、空いているということはもったいないことですので、そのことを否定するつもりは全くないのです。ただ、私たちは1か月前にお電話でとらせていただくのですが、1か月前でもとれないという状況があります。今までは限られた人しかスタジオを使うことがなかったので、比較的1か月前でも利用できましたのですが、最近はそうでもないという事情が出てきたので、私たちは撮影等でどうしても照明等を使いたいものですから、できればその辺の考慮を少ししていただけるとありがたいです。貸してくれるなど言っているわけではなくて、そのように目的がある、機材を使うということを優先ではないのですが、使わせていただけるとありがたいということが第1点です。

第2点目は、このたづくりのスタジオができたときから随分日が経っていると思いますが、とても立派なスタジオです。専門家の方に見ていただいても、たづくりはこんなに立派なスタジオがあるのですねと言われるぐらい立派なスタジオなのですが、十数年の間に技術が進歩し、映像社会でもいろいろなことができるようになってまいりました。

そのときに、今、最近は horizont をバックにして撮らせていただくのですが、そこにブルーシートをかけることによって、いろいろな技術を使って撮影できるようなやり方が随分前からできるわけです。今まではアーク・システムからいただいた大きな紙を貼りつけていたのですが、使っていくとしわが目立ったりしてしまいます。撮影していると、紙

がぐしゃぐしゃになっているのがそのまま映ってしまうということがあり、できれば私たちが今使っている大きな紙を貼るのではなくて、ブルーバックがあると非常にきれいに撮れるのではないかと考えています。

今非常に一般的ですので、私たちだけではなくて、スタジオを使って撮影したい方々にとってもメリットがあるのではないかと考えています。まずはそういった現状であることを利用者懇談会でお伝えしたいということで本日は参りました。

○大割総務課施設管理係長

私からお答えします。1点目についてですが、ご承知のことかと思いますが、今年度の4月からスタジオの利用料金を引き下げ、一部の音楽目的での利用をしていただくということで改定しました。もともとスタジオは利用率が必ずしも高くないということがあり、そのことと音楽目的で利用されるお客さんがとても多くて、ほかのお部屋がとりづらいいということがあり、音楽目的の一部、例えば大正琴とか合唱などですが、それについてはできる限り使っていただきたいということで、そのような改正をしております。

1か月前であればとれたのに今はおさえにくいというお話ですが、できれば3か月前などにご相談いただければ、調整ができるのではないかと考えています。

2点目ですが、ご要望として承りましたので、検討させていただきたいと考えています。

○窪田総務課長

いかがでしょうか。

○N

2点目に関しては、大変ありがたいので、ご検討いただければと考えています。

1点目については、私たちは調布の情報をなるべく早く伝えたいということが目的のひとつとしてありますので、現在のところ3か月前に撮影日が決まるということはないです。基本的には1か月前ぐらいに撮るとというのが状況であり、それ以上前にこの番組を採り上げようということが決まるということは、基本的にうちの場合はないです。新しい情報をどんどん採り入れていくということになると、3か月前というのは難しいのかなと考えております。

ただ、こちらとして最初からこの日と決めさせていただいて、毎月この日に撮らせていただくというようなことで、その日に合わせてやる形というのも、一度検討してもいいのかなと思いましたが、一度持ち帰らせていただきます。極力スタジオを使わせていただくと、調布の中にこんな立派なスタジオがあるということもPRできると思いますので、うまく

折り合いながら実施していきたいと思っています。

○窪田総務課長

続きまして、Pの方、お願いします。

○P

Pと申します。まず、6月の件の回答の中で気になった点です。西日の問題です。駐車場出口は、確かに季節によって西日の角度が違うのかもしれませんが。例えば「出口のところに西日が強い場合があるので、気をつけてください」などの、注意喚起があればよいのではと思います。既にしてあるのかもしれませんが、そういった注意喚起だけは急いでやらないと危ないのではないかという気はしました。

あと、毎度のことですが施設の押さえにくさについてです。特に発表のできるホールなどです。対応表の12番でもありましたが、大きな施設の先行予約を極力減らしていただくというのは、以前に最高でも例えば半分以上にならないようにとか、3分の1以上にならないようになど配慮を数値でお答えいただいたこともあります。

最近練習場所についても、先ほどスタジオの話もありましたが、合唱などの、練習できる会場を増やしていただいているのですが、これはたづくりだけではなくて市の生涯学習絡みでも関係があるのかもしれませんが。今年も児童館などで合唱できなくなった施設がありました。例えば地下の音楽練習室みたいに10人程度の定員ところでは合唱練習で20～30人可能だとかなどできたらと思います。本当は50人ぐらい練習できる施設が欲しいのですが、そういった場所の確保は、たづくりだけではなくて市のほうでもぜひ確保できるような努力をしていただきたいと思います。

以前から私はグリーンホールのリハーサル室の開放をぜひ検討してくださいということ常々言っていたのですが、そのところ引き続き検証し、利用する立場の我々の意見の聴取も進めていただいて、練習場所をぜひ増やしていただけるようお願いしたいと思えます。

それから、先日、私たちがむらさきホールやギャラリーなどを使って、たづくり祭りをさせていただいた際は、会館の皆さんにいろいろ運営上でご相談させていただきました。アドバイスのおかげで昨年にも増して来ていただいた方に満足していただけたのではないかと思います。どうもありがとうございました。

○窪田総務課長

市全体で施設、特に合唱ができるところを増やしてほしいというご意見をいただきました



た。

○榊文化振興課長

たづくりやグリーンホールの行政利用に関しましては、昨年8月に全庁的に事務連絡で周知しました。市の利用は必要最低限とし、あらかじめ計画的に決められたものについてのみ、先行予約を適用とするということで周知をいたしました。

また、毎回いただいている市民の活動の場の確保については、引き続き調布市としても、あらゆる場所を想定して確保に努めていきたいと考えております。

○窪田総務課長

よろしいでしょうか。

○P

はい。

○窪田総務課長

続きまして、Fの方、お願いします。

○F

Fです。私の議題は常務理事宛てにメールでお送りしているので、お手元にあると思いますが、全般的に申しあげて、6月20日付の対応表というのは結構ですが、前の懇談会で出た議事録をもう一回読み返した上での作成をお願いしたいです。前回、数字も提示してお願いした件は全部無視されて抽象的な答えになっているのは困るので、やはり前の議事録を参照しながらの答えにさせていただきたいと思います。

まず、地下1階のモニターの件ですが、前回、数字を申しあげたのは、休館日の案内20秒は5秒にしてもいいのではないかという点です。それから、財団事業の案内を25秒提示しておられますが、10秒程度でいいのではないか、短縮してくださいという提案です。エレベーターの前で今日は何階に行ったらいいのだろうと分かるように、早くその表示が出るようにしてほしいという要望を数字を示して申しあげていたのですが、それについては何もお答えがなくて、単に施設紹介の表示だけはやめましたという回答になっています。

ご提示した今日の議題で、数字としてはどうなっていますかということをお伺いしていたのですが、先ほどはご説明がなかったです。地下で実際に計ってみたら休館日の案内が15秒になっています。それから、財団事業の案内はありません。したがって、15秒待てば今日の催しは何階のどこの部屋でやるかというのが分かるようになっている

のですが、それを織り込んだ回答となっていないと、意味がないのではないかと思います。ぜひ、前回の懇談会でお願いした件については具体的に数字を含めた対応表にしてもらいたいです。

地下1階のエレベーターの前のモニターの表示については、現在、休館日の表示が15秒だけになり、すぐ今日の催しは何階のどこでありますと分かるので結構かと思えます。地下の1階に自転車で来た際にモニタを確認し、今日は何階に行ったらいいだろうと早く知りたいのです。

現在、休館日の案内が15秒になっていますが、私は5秒でもいいと思うのです。15秒じっと待っていないと休館日がわからないとかではなくて、それぞれグリーンホールは2日間、たづくりが4日間だったか、15秒も眺めている必要はありませんので、やはり5秒程度に縮めていただきたいです。

それから、大会議室の音響の問題ですが、お答えでは利用時に音響スタッフがマイクやスピーカーのチェックを行い、最善の形になるよう対応しておりますということです。前回、私は片方のスピーカーをとめてみたりなど、そういったテストをしてくださいというお願いをしてあったのですが、実際どのようなテストをして、どういった調整をしているのですか。そのご説明をお願いします。現に反響して聞きにくいことは確かです。前は聞く人によるのではないかというようなご意見があったのですが、そうではなくて耳に手をかざすとはっきり音が途切れ、非常にクリアに聞けることができました。どのように最善の形になるようにされたか、それについてご説明ください。

○大割総務課施設管理係長

大会議場に限らず、ホール系施設では舞台スタッフが音響機材や照明機材のテストを事前に行っています。音響の場合は、マイクを使う場合ですが、実際に自分でスタッフがマイクで発声しながら、各場所で聞こえ方の各所チェックをしています。催し物の内容によるのですが、後ろの方は音が小さいとか大きいとかをチェックしながらやっています。そこで何か問題があれば音響調整卓のほうでレベルの調整を行い、可動席の場合は椅子の配置を前のほうにか後ろのほうにするなど対応しています。現時点では問題がないと思っています。

○F

ボリュームの調整を試みるだけですか。調整というのは、最善の形になるようにその都度対応しているというので、その都度変わってくるわけですね。

○大割総務課施設管理係長

その都度変わってくると思います。

○F

現実にはどのようにしているのですか。具体例でご説明をお願いしたいのです。例えば片方のスピーカーをとめてみたりなどしているのでしょうか。要は反響なのです。反響で聞きにくいので、そのような対応をしてください。

○大割総務課施設管理係長

大会議場のスピーカーは右と左についていますが、片方をとめるというのは余り意味がないことだと思いますので、基本的には両方から出します。

○F

反響の問題だから、片方とめてみてテストされたらどうですかと前回提示しているわけです。なぜそのテストをやらないのですか。単に反響していないとおっしゃるのですが、現に反響しています。私だけではなくて、ほかの人もちよつと聞きにくいというご意見もありました。より聞き取りやすくするためには、そのようなテストを行い改善をしてもらいたいわけです。

○大割総務課施設管理係長

事前のチェックで問題がないということを確認しているということです。

○F

この件について今度、実際に講演会の際に確認してください。

○常廣総務課長補佐

マイクで話をして全体の音が聞こえているかどうかというところまた、今、ひょっとしたら声が小さくて聞こえなかったかもしれないですが、大会議場でしたら大会議場のいろいろなところにスタッフが立ち、音がどのように聞こえるかを確認しています。その上で、これであれば問題ないだろうというそのときの最良の状態に持っていく努力はしています。

○F

今度、講演会があったときに実際に聞いてみましょう。講演会の際に、反響で聞きにくかったら、あなたを引っ張ってきて、このとおりですと言います。

会館の施設がおさえにくいという先ほどから出ている問題です。議題に出しましたように、この懇談会は11年前に始まって、この問題は古くて新しい問題です。ずっと皆さんが不便を感じているので、何とかしてくれということだったのですが、3年目か4年目ぐ

らいに、当時、市のいろいろな会議などの予約のために会議室を全て押さえてしまい、市民が利用するのに非常に使いにくくなっているということがありました。市側に押さえられている会議室の利用がどの程度かというのを数字で調べ、現実、何件、何時間というデータを財団でおとりいただき説明いただいたことがあるのです。

過去の議事録を調べれば分かるのですが、今、ホームページに載っている議事録は平成22年までしかさかのぼれない。それ以前はないので、一番近い例としては2007年、（8年前）の6月24日に財団で調べられたデータがあります。そのときは市の利用が8%でした。現状はどのようになっているのでしょうか。市民の利用がしにくくなっているということにも影響がありますので、対応表のお答えにある市の利用が最小になるようお願いしていますというような抽象的なことではなく、実際、市は年に何%ぐらい使っていて、どうなっているかというのを数字で出してくださいとお願いしたつもりです。

○大割総務課施設管理係長

平成27年度のたづくりの会議室系施設ですが、市の利用は8%です。

○F

では、変わっていないということですね。

○大割総務課施設管理係長

例年このぐらいです。

○F

だから、その内訳なのです。要は本当に必要な8%なのか、市民の便宜を落としてまで維持しなければいけない8%なのか。8%は意味のある人と別な問題で、それで単に最小にしてくださいとお願いするだけではなくて、これは要らないのではないですか、これは市の会議室でやってくださいということは財団として言っていることがあると思います。単に申し出をそのまま受け取るのではないということです。

○大割総務課施設管理係長

もちろん、財団としてもチェックはしております。必ずしもたづくりで行う必要はないのではないかというときは日程の調整や、ほかの会議室、また庁舎のほうでどうですかということをお願いします。その上でのこの数字だということです。

○F

結局、当時はよくなりましたねという記憶があるので、当時何%だったのが今の8%になっているかわからないのですが、本当に市民の便宜を犠牲にしても使わなければいけな

い市の会議室利用なのかということをお金としてよくチェックしてもらい、市民の利用頻度を増やしてもらいたいです。

あとはお礼として、前にお願ひした市主催の講演会が定員に満たない場合の追加申し込みの出席確認の方法については、きちんと対応していただき本当にありがとうございました。お礼申し上げておきます。

それから、追加ですが、前回、講演会後の質問の時間を必ずとってくださいというお願ひをした件についてです。実際に講演会で質問の時間が足りなくて、私自身はせつかくのお話なので、後で講演者のメールアドレスを調べて、直接講演者にいろいろなお質問をさせていたおいておきます。

そういう意味で、レスポンスが非常によく、質問なり提言をしたのはよかつたと思うのは、具体例で言うとお、この間、エジプトの話だつたかちよつと覚えていませんが、先生のお話の仕方が、最初はゆっくりでしたが、だんだんと早口になり声も小さくなつて非常に聞き取りにくかつたのです。その後も多分同じような講演会をその先生はなさるだろうということで、甚だ失礼ながら、こういう点を直していただくとありがたいというメールをお出ししたら即返事が来ました。その後、たづくりで行つたのと同じような展覧会の説明をあちこちでなさつておいます。7か所か8か所でやつたのだが、話し方の改善に気をつけて、おかげさまで非常に好評を得たというお話がありました。

そういう意味で、私はそれだけ申し上げたのではないのですが、気がつたことを指摘させていただいた後に役に立つたということもありませんので、これは質問にも出てくると思うので、ぜひ質問の時間はとつていただきたいと思います。単に講演会だけではなくて、市民カレッジの講座の内容についてもそうですが、結局先生の耳の痛いことも実際にコメントとして出し、フィードバックするということに役に立っています。このことは、調布で講演会、講座をやってよかつたということになると思います。ぜひ受講者の感想は、いい点、悪い点をあわせて講師にフィードバックしておいていただければと思います。

○鈴木コミュニケーション課長兼たづくり事業課長

いつも講演会のご参加ありがとうございます。継続的に受講者の方からいい点、悪い点などのご意見をいただいています。いただいたものについては、先生と密に連絡をとりながら、より多くの方に喜んでいただけるよう、またここに足を運んでよかつたと思われるよう努めてまいりますので、よろしくお願ひします。

○F

よろしく申し上げます。

○窪田総務課長

ありがとうございました。今回、大変貴重なご意見をいただきましたので、また次回、ぜひ活かして、改善するものは改善させていただきたいと思っております。今後のたづくりやグリーンホールの運営に活かしてまいります。何かまたこれ以外でも今後お気づきの点がございましたら、7階事務室、またお電話でも結構でございますので、お声がけいただければと思います。

次回の利用者懇談会ですが、11月の平日の夜間の時間帯を予定しております。また詳しい日程が決まりましたら、ホームページ、広報紙ぱれっとでお知らせしてまいりますので、どうぞよろしく申し上げます。

それでは、これもちまして平成28年度第1回利用者懇談会を閉会とさせていただきます。本日はありがとうございました。

——了——